

看護部理念 あたたかい心のこもった看護、安全で信頼される看護を提供します。

## あなたの目標に向かって、共に歩みましょう

富山ろうさい病院 4B病棟看護師長 みうら 三浦 しょうこ 唱子

4B病棟は、主に整形外科の患者さまが入院される病棟です。昨日まで普通に生活していた人が、何らかの原因（転倒や事故など）で骨折など身体をいためられたり、長年痛みを抱え手術療法を決断してくる方が多い病棟です。私たち看護師の目指すところは、1. 信頼される周術期看護！ 2. 患者と一緒に目標達成、リハビリ看護！！ 3. 安心して生活の場に戻ろう、退院支援!!! の3本柱です。患者さま一人ひとりが描いている目標は違います。受傷前と同じように仕事がしたい、趣味のスポーツがまた楽しめるようになりたい、ひとりでトイレに行きたいなど様々です。

入院→手術→リハビリの過程の中で、医師・看護師・リハビリ技師・薬剤師やメディカルソーシャルワーカーは患者さまと回復の目標を共有し、退院後の生活の不安を軽減できるようチームで関わっていきます。目標に向かって頑張り、昨日できなかったことができるようになる、その喜びを一緒に味わわせていただける瞬間は患者さまからのプレゼントです。手術前の不安な気持ちや、リハビリ途中でくじけそうになる心を強く支えていける看護師でありたい、それが4B病棟看護師の目標です。

実は12～2月頃は、整形外科の患者数が多くなる時期です。それは、“ころぶ”人が増えるからです。滑ってころぶ、寒さで身体がこわばってころぶ、“ころぶ”原因も様々ですが、天気の良いつるつるに凍った日は、実は緊急手術が多いのです。皆様、お気をつけください。

